健保ニュース

第１８６号
平成28年9月6日

日 本 電 子 健 康 保 険 組 合　　ホームページアドレス　http://www.jeol-kenpo.com/

全国高校野球風景

医療費の悩ましい問題

暑い日々が続きますが、夏も終わりに近づくと少しずつ心地よい風の涼しさが感じられるようになってきました。

健保組合の状況は、平成２７年度は納付金増額の影響で、単年度赤字決算となりました。一方２８年度は一般勘定では納付金が減額しています。年毎の納付金の大幅な増減は相変わらずですが、中長期的にみれば、増加していくことは明らかなので、組合としても備えが必要となります。

納付金は高齢者の医療費に使われます。国内の高齢者は増えますので、その医療費も増加します。そうなると総納付金額は増加しますので、各健保組合の支払う納付金も、組合の状況によって短期的な出入りはあるにせよ、長期的には上昇傾向にならざるを得ないことになります。

会社をリタイアした高齢者の医療費負担をどうするかは深刻な問題です。現在は高齢者本人と現役世代で負担しています。組合が払う納付金は現役世代負担分です。現役世代は今後減少しますので、これ以上の負担を現役世代に求めることはできないというのが一般的な考えです。とすれば、高齢者に負担して貰うかということになりますが、年金以外に収入のない高齢者にこれ以上の負担を増やすのは無理があるのでは、との意見も否定できません。

健保連は納付金の代わりに国の負担を増やせばいいのではとの意見です。つまり税金です。消費税増税により、高齢者医療費負担割合にメスが入ることが期待されましたが、増税は見送りとなってしまいました。

非常に悩ましい問題ですが、解決しなければならない問題です。

平成２７年度事業報告・決算

平成２７年度は単年度赤字。但し、赤字幅は想定内

平成２８年７月１３日に開催した第１２５回組合会にて、日本電子健康保険組合の平成２７年度事業報告および収入支出決算が承認されました。一般勘定の経常収支は８１，０８３千円の経常赤字となりました。赤字になったのは平成２２年度以来５年ぶりです。但し、赤字金額は予算策定時時点では２００，０００千円程度になることも想定されていました。８１，０８３千円に収まったのは想定内と言えます。

別途積立金は６０７，００４千円から、５９，３４９千円減額し、５４７，６５６千円となりました。

介護勘定では、単年度１６，００７千円の残金となりました。

１．財政状況

(1) 一般勘定

平成２６年度に一般保険料率(健康保険料率)を１，０００分の８６に設定して２年目となります。保険料収入は平成２６年度から増額し、１，７０２，５６１千円となりました。

一方支出では、平成26 年度と比べると納付金が大幅増額、組合員が病気・怪我等をした場合に掛かる保険給付費も増額となりました。経常支出は２０２，０３５千円の増となりました。

保険料収入が増額したにも拘わらず単年度赤字となったのは、納付金が２６年度と比べて、１５９，８９４千円増額したことが大きな原因です。納付金が大幅に増額した関係で、国から１０，７２８千円の助成を受けています。

当組合の納付金額は年毎に増減していて、平成２８年度には減額することが予測されています。料率改定はせず、今後の財政動向を注視します。

(2) 介護勘定

介護保険料率を１，０００分の１２としました。これは平成２３年から変更しておりません。結果は４年連続の黒字となりました。

介護勘定支出の大半を占める介護納付金の額は２８年度は増額することが予測されています。

２．事業運営

事業計画に盛り込んだ事業は全て実施しました。

特に組合員の健康維持・増進のための健康診断やインフルエンザ予防接種、歯科健診(隔年実施)などの保健事業は、従来どおり積極的に取り組みました。また、平成２６年度に引き続き、アミノインデックスがんリスクスクリーニングを実施しました。

今後も組合員に有益になる事業は、検討吟味のうえ、実施していきます。

平成２７年度　収入支出決算概要表

［一般勘定］

収入の部　　単位：千円

科　　目	決　算　額	前年度　決算額	増　　減
健康保険料収入	1,702,561	1,657,999	44,562
保険料	1,702,079	1,657,521	44,558
国庫負担金収入	482	478	4
＊調整保険料収入	26,230	25,548	682
繰　　入　　金	153,000	0	153,000
＊別途積立金繰入	150,000	0	150,000
退職積立金繰入	3,000	0	3,000
国庫補助金収入	11,326	696	10,630
特定健診・保健補助金	598	696	△98
＊その他	10,728	0	10,728
＊財政調整事業交付金	11,003	12,368	△1,365
＊高額医療交付金	11,003	12,368	△1,365
雑　　収　　入	3,144	3,516	△372
利子収入	190	187	3
施設利用料	2,770	3,116	△346
高額・出産貸付回収金	0	0	0
＊補助金等追加収入	0	72	△72
その他	184	141	43
収入合計	1,907,264	1,700,127	207,137
経常収入（＊を除く）	1,709,303	1,662,139	47,164

支出の部　　単位：千円

科　目	決　算　額	前年度　決算額	増　減
事　務　所　費	41,924	37,863	4,061
組　合　会　費	107	106	1
保　険　給　付　費	754,811	720,674	34,137
法　定　給　付　費	733,405	699,463	33,942
付　加　給　付　費	21,406	21,211	195
納　付　金	894,672	734,778	159,894
前期高齢者納付金	481,033	329,085	151,948
後期高齢者支援金	368,127	331,361	36,766
病床転換支援金	0	0	0
退職者給付拠出金	45,503	74,323	△28,820
老人保健拠出金	9	9	0
保　健　事　業　費	96,584	92,354	4,230
還　付　金	0	374	△374
保険料還付金	0	368	△368
＊調整保険料還付金	0	6	△6
＊財政調整事業拠出金	26,136	25,437	699
連　合　会　費	674	667	7
積　立　金	1,500	1,400	100
雑　支　出	114	286	△172
＊補助金等返還金支出	0	145	△145
その他	114	141	△27
予　備　費	0	0	0
支出合計	1,816,522	1,613,939	202,583
経常支出（＊を除く）	1,790,386	1,588,351	202,035

収支差　　単位：千円

科　目	決　算　額	前年度　決算額	増　減
収　支　差	90,742	86,188	4,554
経　常　収　支　差　額	△81,083	73,788	△154,871

［介護勘定］

収入の部　　単位：千円

科　目	決　算　額	前年度　決算額	増　減
介護保険収入	153,524	146,842	6,682
繰　越　金	312	701	△389
繰　入　金	0	0	0
雑　収　入	2	2	0
収入合計	153,838	147,545	6,293

支出の部　　単位：千円

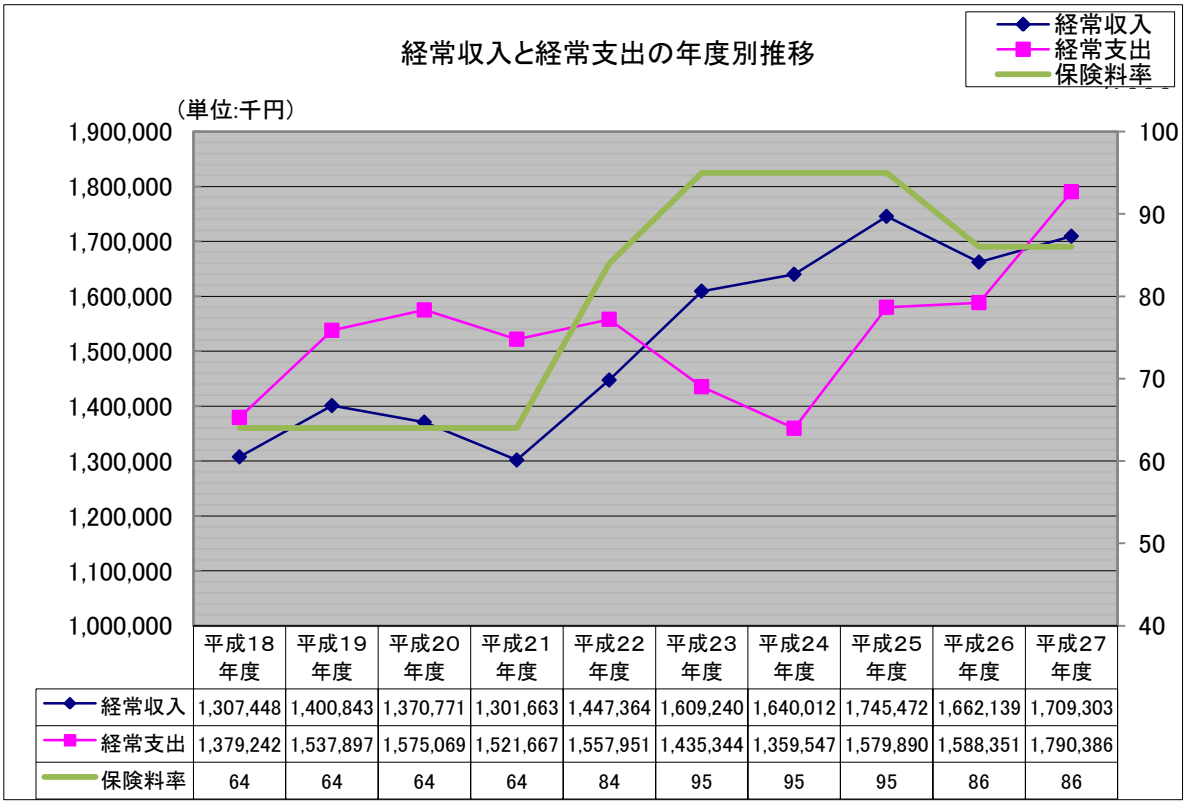
科　　目	決　算　額	前年度　決算額	増　　減
介　護　納　付　金	137,831	124,233	13,598
還　　付　　金	0	0	0
積　　立　　金	0	0	0
収入合計	137,831	124,233	13,598

収支差　　単位：千円

科　　目	決　算　額	前年度　決算額	増　　減
収　支　差　額	16,007	23,312	△7,305

[財産目録]　　単位：千円

科　　目	平成27年度末	平成26年度末	増　　減
法定準備金	370,000	370,000	0
別途積立金	547,655	607,004	△59,349
退職積立金	12,900	14,400	△1,500
建物	19	19	0
介護準備金	86,000	70,000	16,000
その他	192	192	0
収入合計	1,016,766	1,061,615	△44,849



	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
経常収入	1,307,448	1,400,843	1,370,771	1,301,663	1,447,364	1,609,240	1,640,012	1,745,472	1,662,139	1,709,303
経常支出	1,379,242	1,537,897	1,575,069	1,521,667	1,557,951	1,435,344	1,359,547	1,579,890	1,588,351	1,790,386
保険料率	64	64	64	64	84	95	95	95	86	86

［事務局だより］

１０月以降に勤務先から被保険者証をもらったパート社員の方は

平成２８年１０月から、下記の要件に当てはまる労働者は所属する事業所の被保険者になります。

① 常時５０１人以上の事業所に所属していること。
② 週の労働時間が２０時間以上であること。
③ 雇用期間が１年以上見込まれること。
④ 賃金の月額が８．８万円以上であること。
⑤ 学生でないこと。

この要件に該当し、所属する事業所から被保険者証を交付された被扶養者の方は、勤務先で被保険者になり、当組合の被扶養者から外れます。該当する方は当組合に被扶養者異動届を提出し、当組合から発行した被保険者証の返却をお願い致します。

なお、被扶養者となる要件の変更はありません。

マイナンバー制度の健保組合対応

マイナンバー制度は平成２８年１月から開始されていますが、健保組合の事務手続きも平成２９年１月から必要になります。それまでに事業所を通じて、被保険者、被扶養者の方のマイナンバーを取得させて頂きます。ご理解、ご協力をお願いします。

また、任意継続被保険者の方などで、事業所からマイナンバーを取得できない方は、直接健保組合にご提供頂く場合もございます、そのご協力も宜しくお願い致します。

みなさんの標準報酬月額が変わります

標準報酬月額は、毎月の保険料計算などの計算基礎になります。毎年一回、７月１日現在在籍の被保険者全員について、４、５、６月に受けた給与の平均額から標準報酬月額を決定します。

決定された新しい標準報酬月額は、９月分の保険料計算から適用され、１０月の給与から控除されます。

ただし、従前の等級と２等級以上の差が生じ、固定的賃金も同様の変動があった場合には、変動後４ヵ月目から新しい標準報酬月額に変更されます。

※保険料については　当組合 HP　http://www.jeol-kenpo.com/「健康保険」および「介護保険」コンテンツ「保険料の決め方」「保険料月額表」をご参照ください。

被扶養者再認定調査を実施します

１０月から被扶養者の再認定調査を実施します。

厚生労働省の指導に基づき、保険給付適正化の観点から毎年実施しています。

今回の調査は、健康保険の被扶養者になっていて、「給与所得者の扶養控除等（異動）申告書」に記載されていない人を対象に、健保組合から直接調査票を送付します。

調査にあたっては、対象者の現況を確認するため、課税証明書、非課税証明書、在学証明書、年金支払通知書、所得証明書等の提出をお願いします。

契約保養所のご案内

契約保養所として、「リゾートトラスト」と「東急ハーヴェストクラブ」を契約しています。

リゾートトラストは、ルームチャージでの料金設定が基本ですが、シーズンに合うお得な１泊２食のプランもあります。東急ハーヴェストクラブでは、１人あたりの料金と宿泊プランが設定されています。

詳細は当組合ＨＰ　http://www.jeol-kenpo.com/の「保養所」をご参照ください。

初島旅行記

当組合の契約施設であるリゾートトラストのエクシブ初島クラブをご利用頂いた被保険者に旅行記を纏めて頂きました。

契約施設であるリゾートトラストの宿泊施設「エクシブ初島クラブ」へ、家族３人で旅行に行きました。日頃、育児ストレスが溜まっている妻の慰労も兼ねて、家族みんなで楽しみたいと期待に胸を膨らませて出発しました。

改めて、初島の基本情報ですが、伊豆半島東部相模湾海上に浮かぶ島で、熱海市本土から南東に約 10 キロメートルの位置にあり、熱海港から高速船に乗って約 25 分、東京駅からだと電車を含めても約 90 分で着くため、首都圏から一番近い離島として知られています。島は、周囲 4km ほどの大きさでタクシーもコンビニエンスストアもなく、どこにいても波の音が聞こえるような静寂の空間で、のんびりとした時間が過ごせます。

初島に到着して船を降りると、まずは海の透明度に感動します。そのまま桟橋を進むとすぐに、観光客を歓迎してくれる大看板があり、リゾート地に来た気持ちを高めてくれます。せっかく初島へ行くので、昼食の時間に合わせてフェリーに乗り、到着後すぐにお店選びを始めました。港からすぐの場所に、漁師が営む飲食店が立ち並んでいます。どのお店も、朝漁に出てその日食べる分だけを獲って来て、そのまま店先の生簀代わりの水槽にいるため、漁師と同じ鮮度で食事が楽しめます。昼食時だったため、どのお店も混雑し、行列が出来ている人気店もありました。私たちは子連れだったこともあり、行列には耐えられないと考え、ベビーカーでも入店可能なお店を選びました。

絶対に食べようと決めていた伊勢海老の刺身と、人気の定食セットを注文。やはり、とびきり新鮮な状態で食す刺身類は、格段の味わいです。夫婦で舌鼓を打ち、大満足でお店をあとにしました。

昼食後、のんびりと島の外周を歩き始めました。道中の景色や、外の海を見ても、常に大自然に囲まれ、まるで海外のリゾート地にでも来たような気分にさせてくれます。島の 1/4 くらいまで進んだところで階段があり、これ以上はベビーカーでは進むことが出来なかったため一度港まで戻り、今回の宿泊先である「エクシブ初島クラブ」の送迎バスに乗ってホテルに到着しました。

ホテルは客室が 200 室もあり、大きくて立派な外観もさることながら、中に入ると高級感あふれる空間とスタッフが気持ちの良い対応で迎え入れてくれます。宿泊する部屋は、定員４名のラージグレードで、ベッドルーム２部屋、和室１部屋、さらに大きなリビングがあり、充実した設備と広々とした開放感あふれる部屋です。また、ホテル内には様々なショップやゲームコーナーなどが複数備えられ、大人から子供まで楽しめる施設になっています。私たちにとっては、特にキッズルームを無料で使用できることが有り難く、玩具が揃っていたので子供も退屈することなく、楽しい時間を過ごせました。それ以外に、最上階にある大浴場にも行きましたが、眺めはもちろん、海を目の前に入る露天風呂は気持ち良く、最高の気分を味わえました。

ディナーは、和洋中が揃った４つのレストランから選べますが、今回はシーフードイタリアンにしました。ゆったりと落ち着いた雰囲気の店内で、新鮮な海の幸を堪能し、優雅なひとときを過ごすことができます。そして、２日目の朝食はビュッフェスタイルになります。味はもちろん、種類も豊富なため、老若男女どなたでも満足できる内容になっています。朝食後はホテル内のお土産を買い、あっという間にチェックアウトの時間になりました。

ホテルの車で船着き場まで送ってもらうと釣りをしている人がたくさんいたため、釣竿を借りて船着き場の近くで釣りをしました。魚はたくさん見え、小学生くらいの子も釣っています。いざ、自分達もチャレンジしてみると比較的簡単に釣ることができ、短時間で１０匹程度を釣り上げて楽しむことができました。

今回、１泊２日の短い旅行でしたが、非日常の優雅なバカンスを過ごせました。新鮮な海の幸を堪能し、普段なかなか出来ない海釣りを楽しみ、ホテルはもちろん、初島の中にいるとどこへ行ってもリゾート感覚を味わうことができ、家族みんなで、「また行きたい」と思う大満足な旅行となりました。

今回の初島訪問に際し、ご協力いただいた日本電子健康保険組合関係者の皆様、並びにリゾートトラスト㈱関係者の皆様に感謝申し上げます。(Y)

初島は人気の高いリゾート地ですが、当組合は初島の宿泊利用契約を結んでいて、比較的予約がし易いです。季節によってそれぞれに楽しめます。是非ご利用下さい。

組合の現勢（平成２８年７月末現在）

一般保険

被保険者数	3,047 名
男子	2,560 名
女子	487 名
被扶養者数	3,199 名
男子	1,065 名
女子	2,134 名

介護保険

該当被保険者数	1,733 名
男子	1,464 名
女子	269 名
該当被扶養者数	770 名
男子	2 名
女子	768 名

編　集　後　記

ドーピング問題で揺れ、治安や設備管理面などでもいろいろあったリオでのオリンピックでしたが、終わってみれば、やはりオリンピックの主役は選手たちだなと感じました。日々の雑事に追われる私たちからみれば、晴れの舞台で輝ける機会がある彼らをリスペクトしつつも、羨ましくも思います。

世界的なスポーツ大会が開催できるのも世の中が平和であればこそ。次回のオリンピックは東京です。４年後の世界が今よりも良い方向になっていることを願って止みません。

平成２８年９月６日発行
日本電子健康保険組合
〒１９６－８５５８　東京都昭島市武蔵野三丁目１番２号
編集・発行責任者／末岡　弘